

令和6年7月5日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

## ブドウ栽培支援ロボットの実演会実施について

本学では、戦略的スマート農業技術等の開発・改良事業で開発中の「ブドウ栽培支援ロボット」について、下記のとおり、ブドウ生産者に向けた実演会を実施します。つきましては、当日の取材および貴報道枠でのご紹介をよろしくお願いいたします。

### 記

日 時：令和6年7月8日（月）13時00分～15時00分（予定）

場 所：JA フルーツ山梨統一共撰所（山梨県山梨市牧丘町倉科 75-1）

内 容：開発中のブドウ栽培支援ロボット等に関する説明と試行運転 など

その他：ロボットの実演以外に、本事業において開発・改良を行っている

以下のブドウ栽培支援技術についても実演を行う予定です。

- ・粒数を推定する携帯アプリ&ハンドフリーカメラキット
- ・スマートグラスによる摘粒支援
- ・スマートグラスによる収穫適期判定

### 【戦略的スマート農業技術等の開発・改良事業での開発の経緯】

本学が代表機関となり山梨県及び県内企業等とともに構成する「人間・ロボット協働型シャインマスカット栽培体系構築コンソーシアム」は、令和4年度、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、生物系特定産業技術研究支援センターが公募した、戦略的スマート農業技術等の開発・改良事業「AI 駆動型栽培体系：人間とロボットの協働によるシャインマスカット栽培の高効率・高品質化」に採択され、山梨県が誇るブドウ「シャインマスカット」の栽培における房づくり、摘粒、収穫作業の工程の効率化を図るための人工知能（AI）技術、それを搭載したスマートグラス・栽培支援ロボットの開発等を行って参りました。

### <取材について>

- ・取材を希望される報道機関の方は、開始時間の15分前までに直接会場へお越してください。駐車場については、当日現地にて係りがご案内させていただきます。
- ・質問等については、実演会終了後、本研究代表者である茅暁陽理事が対応させていただきます。

#### **<研究・アプリに関する問い合わせ先>**

山梨大学 大学院総合研究部

「人間・ロボット協働型シャインマスクット栽培体系構築コンソーシアム」事務局

TEL : 055-220-8638

E-mail: [smgrobo@ml.yamanashi.ac.jp](mailto:smgrobo@ml.yamanashi.ac.jp)

#### **<広報に関する問い合わせ先>**

山梨大学 総務企画部 総務課 広報・渉外室

TEL : 055-220-8005、8006

E-mail : [koho@yamanashi.ac.jp](mailto:koho@yamanashi.ac.jp)

# 【戦略的スマート農業技術等の開発・改良事業】 AI駆動型栽培体系：人間とロボットの協働による シャインマスカット栽培の高効率・高品質化 (令和4年度～6年度)

## 背景・課題

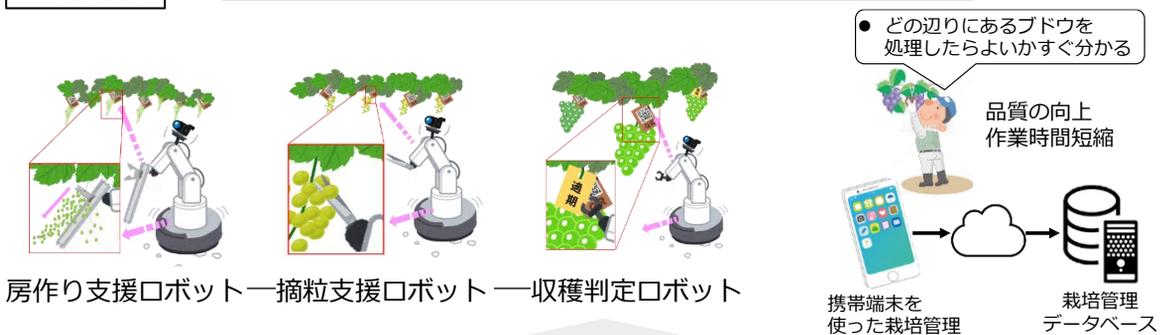
- 高品質ブドウの栽培には経験豊富な生産者の「匠の技」が欠かせない
- ブドウ栽培作業に膨大な人手・時間がかかり容易に作付面積を増やせない

## 目的

- **AI搭載ブドウ栽培支援ロボット**による**軽労化**
  - **人間・ロボット協働作業支援**による**作業の効率化**
- を目指す

## 研究内容

### 3つの作業ロボットと協働型栽培支援システムの開発



研究開発の実施・検証実験など

## 「人間・ロボット協働型シャインマスカット栽培体系構築コンソーシアム」

山梨県

山梨大学

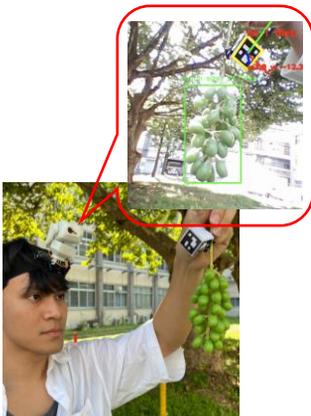
山梨中央銀行

YSK e-com

ミラプロ

ドリームファーム

## ベースとなるAI技術



粒羅

摘粒  
指示

収穫  
適期

